

令和元年度「ストップいじめ なら子どもサミット」 ～第1回ワーキングの様子～

奈良市教育委員会事務局
いじめ防止生徒指導課

令和元年12月24日(火)9時30分から12時まで奈良市教育センターにて、今年度の「ストップいじめ なら子どもサミット」第1回ワーキングを開催しました。春日、三笠、若草、伏見、富雄、都南、登美ヶ丘、平城西、二名、京西、富雄南、飛鳥、都跡、平城東、富雄第三の15中学校から64人の生徒が第1回ワーキングに参加しました。

ワークショップでは、初めは緊張した表情で活動をしている生徒が多く見られましたが、自分の想いを伝え、他の生徒と協議するうちに、初対面であることを忘れるぐらい熱心に取り組む生徒が増えていきました。これからの活動への期待を強く感じることができました。

○はじめに

開会にあたり、進行役の前田先生(伏見中学校)からサミットへ向けての気持ちの確認とともに「サミットは今回で4回目となり、過去に頑張って活動された先輩方がいじめをなくすために自分たちでできることは何かを考え、築き上げてきた取り組みです。みなさんの力でより良い学校や地域への活動につなげて行きましょう。今年度のテーマは、【ネットいじめをなくすために私たちができること、大人ができること】～ネットいじめ撲滅 みんなでスクラムG21～です。」と主旨説明とテーマの発表がありました。

続いて、奈良市教育委員会事務局いじめ防止生徒指導課係長の中川から「第1回のワーキングで過去最多の生徒に参加していただき、サミットにかける思いを感じ、嬉しく思います。2月1日のサミット本番に向け、みんなでスクラムを組み、ONE TEAMで深い議論ができるように力を合わせていきましょう。」と激励の言葉を送りました。

○昨年度の活動紹介

今年度の参加生徒のうち、代表生徒2名が昨年度の活動について報告しました。

都南中学校からは、「ワークショップでポスターセッションを行い、いじめが起こらないような行動や環境、居心地の悪い環境がいじめを引き起こすという問いに対して考えを出し合いました。サミット本番では、一人の意思からみんなの意思へをテーマに、私たち中学生と地域の大人がいじめのない地域づくりについて話し合いました。」と活動内容の報告がありました。

そして、登美ヶ丘中学校から、「昨年のサミットで大人からは、多くの質問やアドバイスをもらい、地域の方と相談した活動案などのアイデアを参加者に伝え、大いに盛り上がりました。

司会の先生からはこれでゴールではなく、ここから全員で本気になって取り組んでほしいと励ましをいただきました。」と報告がありました。



○アイスブレイク

活動紹介に続いて、参加メンバーの緊張を解きほぐすため、進行役の黒島先生（富雄第三小中学校）によるアイスブレイクを実施しました。

このアイスブレイクにより、一気に緊張がほぐれ、和気あいあいとした雰囲気になりました。会場全体を包んでいた不安感も徐々に減っていき、この後のワークショップを効果的に実施できる勢いが生まれました。

○ワークショップ I

はじめにから、ならストップいじめ3ヶ条をワークシートで確認しました。ここからの進行役は、峯嶋先生（平城東中学校）、前田先生です。

次に「昨年のサミット後から現在までに各学校や生徒会活動として取り組んだことを基に①テーマの達成度②取組の効果③取組の持続度を5段階評価する。」という課題が与えられ、それぞれの学校ごとに模造紙にまとめ、1分ずつ発表をしました。達成度については、各校とも遠慮がちな評価が多く、あと少しの努力が必要との見解でした。効果についても、挨拶運動の成果と課題、地域の方へサミットの報告など一定の成果を挙げてはいる反面、これからも継続して課題解決に向け、活動していくという学校もありました。持続度については、生徒会の取組の認識が薄く、理解してもらえないことがあり、これからも粘り強く活動し継続することなどの必要性も出されました。

この活動を通して自分たちの取組の成果や課題を確認することができました。さらに他の学校での取り組みをヒントとし、自分の学校に持ち帰り、さらに成果を上げてくれることに期待をしています。



○ワークショップⅡ

2つ目のワークショップでは、ネットいじめの現状を把握するために世間や身近に起こっているいじめについて、学校の枠を超えた混合班で活動しました。初対面の集まりだったので緊張をほぐすために、黒島先生が本日2回目のアイスブレイクを実施しました。

そして、前田先生のファシリテートにより、今回のサミットのテーマの説明があり、一昨年のいじめアンケートの集計結果から、いじめが起こる状況は、休み時間が一番多く、次に多いのがSNSによるいじめであることを確認しました。

次に、一昨年のサミットで登美ヶ丘中学校と伏見中学校が作成したSNSのいじめ動画を見て意見の交流をしました。ネットいじめの現状を把握するために世間や身近に起こっていることやネットいじめの起こり方・手段、被害者・加害者の気持ちを付箋に色分けし、模造紙にまとめ、ワーキングを通じてSNSの使い方の注意点、ネットいじめの怖さや解消の方法など多くの感想が出ました。



○次回ワーキングに向けて

前田先生からは、「様々な中学校の代表が集まり、話をする機会はそう多くはありません。たくさんの意見交換から、自分の意見を言うことは素晴らしいことです。自分自身や生徒会の活動から学校の皆さんへグループワークで学んだことを話してほしい。」と力強い言葉をいただきました。

また、「サミット当日は、トークセッションを受け、各班に分かれて大人とともにネットいじめの撲滅宣言をつくる。」と説明がありました。

次回のワーキングは、ネットいじめをなくすためにいじめの事象からネットいじめの起こる仕組みを理解し、協議したいと考えています。

★第2回ワーキングは、令和2年1月18日（土）

9：30～12：00 奈良市教育センターで行います。